

月刊「ワークホームだより」2月号

発行:2025年1月24日 発行者:ワークホーム高砂
〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331 TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111
<http://workhome-takasago.org/> E-mail workhome@nifty.com



すべてに備えよ

施設長 長谷川 博信

法人では昨年末にパワハラや虐待防止、BCP(事業継続計画)の法人に課せられた義務的研修を実施しました。昨年は能登の震災に始まり、異常気象等による農作物の不作、ウクライナ情勢等による物価の高騰に心を悩ませました。先日も年初から南海トラフ地震の予兆を思わせる地震があったことや、現在入所施設あかりの家では35人のコロナ感染が確認されています。今まさに研修の意義を再確認するようなことが起こっているのです。

最近は、物価高等に加え春闘のニュースを見るようになりました。大手企業は5%、中小に至っては格差是正を含めて6%の賃上げ要求がなされるようです。我々社会福祉法人の報酬も世の中の流れに沿った形で改定されていくのか注目しています。

残念ながら報酬は国が決めるもので、私たちは訴えることしか出来ません。一方で利用者の工賃向上や働きやすい職場環境づくりは、ゴトウ・アズ・プランニング様の協力や私たちの努力によって維持・向上できることだとあって思っています。

さて、4月には新たな利用者6名を迎えます。特にはじめて働く方には、利用開始当初にしっかりと支援が必要です。利用者個々への担当制と担当へのバックアップ体制を再構築し誰も取り残さない支援を行っていきます。

同時に施設外就労も始まります。当事業所では以前より就労移行支援事業を展開する計画でしたが、まずは働きながら社会性を身につけることが見込める施設外就労に取り組むこととしました。業務委託契約による清掃業務を兵庫大学で行います。

今、国連の障害者権利委員会は、障害の有無にかかわらず共に働くことができる社会を構築することが重要との観点から、日本に対してシェルタードワークショップは隔離された就労の場だと厳しい見解を示しています。一方で「重い障害があっても「働きたい」を応援したい」とするワークホーム高砂の理念のもと、現実的な就労の場は守らなければなりません。就労継続支援は、高齢・重度障害者への門戸を閉ざすことなく、旧法の授産施設の時代から連綿と続く意義のある事業です。利用者の皆様には新たな選択肢と広がりを感じてもらうことで、微力ながらもこれらの批判に対応していきたいと思います。

今、ワークホーム高砂は、このような多くの課題や危機を想定内とするため、さらなる「備え」の積み上げに務めています。

穏やかな新年を迎えることができたのも保護者の皆様やゴトウ・アズ・プランニング様のご協力のもと、これまでの「備え」があったからです。

感謝の気持ちを込めて、謹んで新年のお慶びを申し上げます。



2月予定

2月7日(金) プラッシング指導

2月12日(水) 工賃支給日

2月23日(日) 保護者役員会



2025年 新年仕事スタート

新年あけましておめでとうございます。年始は晴れて暖かくとても穏やかな年越しとなりました。ワークホームの年明け作業は例年忙しく慌ただしいですが、今年は比較的の作業量も少なく、落ち着いた仕事始めとなりました。

早くも年が明けて1ヶ月が経とうとしています。作業量が減ってできた時間の余裕を使い、タオル班とたたみ班は朝の30分間掃除をしてから作業を始めています。床に大きなほこりが落ちていることが多いワークホームの作業場でしたが綺麗な状態で気持ちよく作業をおこなうことが出来るようになりました。今後もこの習慣を続けていきたいと思います。2025年も変わらずワークホーム高砂をよろしくお願いします。（重田）

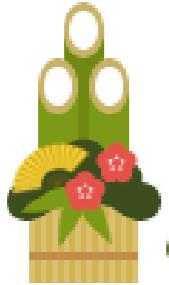
豊富工場見学



1月16日、23日の2日間でいき新設されたGOTOの豊富工場の見学に行ってきました。最新の機械では、機械熱が極力遮断されていました。今までではGOTO商品のほとんどがワークホーム高砂で請け負う形になっていましたが、今後は豊富工場と連携しながら工場運営をしていきたいです。（吉中）



今月の担当は、長瀬でした。

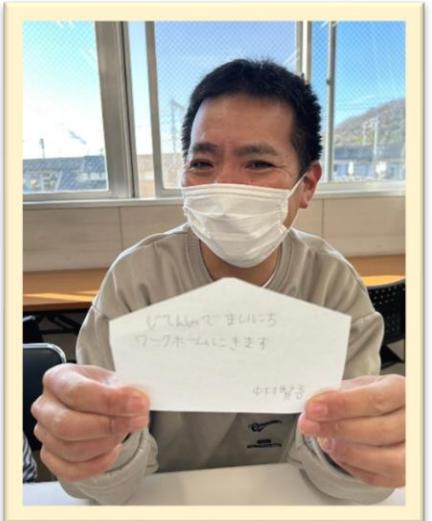


鹿嶋神社へ行きました！



1月11日(土)に季節行事を行いました。毎年初詣に曾根天満宮に行っていましたが今年は趣を変え、鹿嶋神社に初詣に行きました。鹿嶋さんは年が明けて数日経っていますが参拝者も多く、参道には露店が出て初詣感が残っていました。この日は寒さも若干やわらぎ、一ノ池公園から歩いて初詣気分を満喫しながら参拝しました。ワークホーム代表として梅原さん、松永さんでおみくじを引き、見事大吉でした。

ワークホームへ帰ってからは、みんなで白玉作りをし、おしるこにして頂きました。また、今年の抱負を書きだし、みんなで披露しあうなど楽しい時間を過ごすことができました。今年の抱負については、絵馬に正書しワークホームに全員分飾っておきたいと思います。今年の年末にみんなで「達成できたね。」と笑って見たいと思います。（楠）



何を書こうかな

